



# 第111期 株主通信

2011.4.1 ▶▶ 2012.3.31

## CONTENTS

ごあいさつ	1
FUJIKYU TOPICS (Year In Review)	2
FujiQ News	
・ 新型車両「6000系」を導入!!	
・ 「頑固市場」 「レストラン ソラノテラス」 「リサとガスパールカフェ」 OPEN!!	
・ 今夏、富士急ハイランドに新規施設 登場!!	
富士急グループ 「2012年度－2014年度中期経営計画」の策定について	7
事業別概況	8
連結財務諸表	10
単独財務諸表	12
会社概況／株式情報	14
単元未滿株式の買取・買増制度のご案内	15
株主優待のご案内	16



**富士急行株式会社**

証券コード：9010



**頑 頑固市場**  
GANKO ICHIBA

東名高速道路・EXPASA海老名

**Le Café de Gaspard et Lisa®**

新東名高速道路・NEOPASA駿河湾沼津



**レストラン ソラノテラス**  
SORANO TERRACE

新東名高速道路・NEOPASA駿河湾沼津



サービスエリアに新店舗

続々

**OPEN!!**

## ごあいさつ



株主のみなさまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第111期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が期前半まで及び、期後半には緩やかに持ち直しの動きがみられましたが、欧州の金融不安による世界経済の減速、記録的な円高基調など、総じて厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。その結果、連結売上高は439億71百万円(対前期98.6%)、経常利益は18億32百万円(対前期116.4%)、当期純利益は7億99百万円(対前期120.3%)となりました。当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご覧くださいますようお願い申し上げます。

今後も、当社グループを取り巻く事業環境は、電力料金値上げや軽油価格の変動に加え、長引くデフレの影響、景気の不透明感による個人消費の低迷など、厳しい状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中で運輸事業につきましては、引き続き運輸安全マネジメントを実践し、安全の確保に鋭意努めてまいります。鉄道事業では、観光鉄道化を一層推進するため、魅力ある列車の運行や個性ある駅舎への改修とあわせ、JRと連携した富士登山や富士山観光に便利な直通列車の運行、外国人観光客向け商品の設定など、鉄道利用者の誘致と需要の喚起を図ってまいります。

バス事業の乗合バス営業では、関係自治体と連携を図りながら既存路線を見直し、新たな交通ネットワークを構築するとともに、高速バス営業では、利用者動向に応じた路線の増強、見直しを進めてまいります。貸切バス営業では、市場環境の急激な変化に対応するため、引き続き営業体制の再構築に最優先で取り組んでまいります。このようなバス事業健全化の一環として、平成24年4月には河口湖営業所を廃止し富士急山梨バス株式会社に統合するなど、運行効率の改善によるコスト競争力の強化を図りました。

不動産事業につきましては、山中湖畔別荘地、十里木高原別荘地で顧客のニーズに的確に対応した商品の企画・販売を継続するとともに、当社グループ施設との連携を強化し、別荘地エリアの価値向上を図ってまいります。また、社有地を有効活用した新規賃貸にも積極的に取り組んでまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、今夏、「富士急ハイランド」に「戦慄迷宮」を超える「脱出型アトラクション」や小学生に人気の高い「かいけつゾロリ」の世界を体験できる日本初のテーマ館を新設するほか、「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」では、日本最大級の「立体迷路」や「日帰り温泉施設」、「大型フードコートレストラン」を新設するなど、施設の充実を図ってまいります。また、平成24年4月に新東名高速道路NEOPASA駿河湾沼津に当社初となる高速道路の飲食施設「レストラン ソラノテラス」と「リサとガスパールカフェ」を出店するなど、事業の拡大を図りました。

当社グループは、平成24年度を初年度とし平成26年度を最終年度とする「第三次中期経営計画」で、引き続き「ポートフォリオマネジメント戦略」「エリア戦略」を徹底し、富士山世界文化遺産登録への取組みを推進するとともに、成長するインバウンド市場への対応を図ってまいります。また、富士山周辺の魅力や観光情報を発信する情報サービスのプラットフォーム・Webサイトの立ち上げや、鉄道・バスの予約や観光案内を一元化したコールセンターの新設など、富士山が持つコンテンツの多様性を活かした付加価値の高い次世代の情報・サービスを提供し、企業価値の増大を目指してまいります。さらには、「120%の安全」をグループの最優先課題と改めて位置付け、安全管理をさらに徹底するとともに、自然災害等が発生した場合に、事業資産の損害を最小限にとどめ、かつ事業の継続と早期復旧を実現するための事業継続計画(BCP)の策定に着手いたしました。

当社グループは、お客様に「夢・喜び・快適・やすらぎ・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月  
代表取締役社長 堀内 光一郎

# FUJIKYU TOPICS

Year In Review

当期のトピックス紹介

## 水陸両用バス 「YAMANAKAKO NO KABA」 運行開始

山中湖にて、県内初となる水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」の運行を開始しました。このバスに乗れば、一台で陸から湖上から、世界に誇る富士山と山中湖の自然の素晴らしさを、どなたでも気軽に“五感”で体感していただけます。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

## ハイランドリゾート ホテル&スパに スカイバンケット「ティアラ」誕生

富士の絶景を望む富士五湖エリア最上階の12階フロアに、ホワイエ（前室）及びブライズダイニング付きのバンケットルームとしてティアラが誕生いたしました。



## さがみ湖リゾート プレジャーフォレストに 「ワイルドクッキングガーデン」オープン

バーベキュー等様々な野外料理を楽しむ関東最大級のデイキャンプ場「ワイルドクッキングガーデン」がオープンしました。アメリカ西部開拓時代を感じさせる「アメリカンアウトドア」をコンセプトにした作りになっており、定番のバーベキューのほか、本格的な野外料理など様々なメニューが楽しめます。また手ぶらで楽しめるセットメニューも用意しております。



## 富士急行線「富士山駅」誕生

富士急行線 富士吉田駅の名称を変更し、「富士山駅」が誕生いたしました。デザイナー・水戸岡鋭治氏の全面的なサポートのもと、富士山の玄関口としてリニューアルいたしました。



## 東名高速道路EXPASA海老名に「頑固市場」オープン

東名高速道路・海老名サービスエリア(上り線)の商業施設「EXPASA海老名」のグランドオープンにあわせ、当社において「高速道路初出店」となる新店舗「頑固市場」をオープンしました。



## 富士急行線に新型車両「6000系」デビュー

2月29日(“富士急の日”)より、新型車両「6000系」の運行を開始いたしました。車両全体のデザインは、当社の観光列車「富士登山電車」等のデザインも手がけたデザイナー・水戸岡鋭治氏によるものです。

10月

11月

12月

1月

2月

3月

## 富士急ハイランド「高飛車」オープン

総工費約30億円の新・大型ローラーコースター「高飛車」がオープンしました。「高飛車」はリニアランチ方式による直線加速と、垂直巻上げによる落下という、二種類の加速が楽しめるコースターです。最大落下角度121度は世界最大となり、ギネス世界記録™に認定されました。



## 遊覧船「白鳥の湖」誕生

「日本一の富士の麓 山中湖に日本一美しい白鳥を浮かばせよう」をコンセプトに、子どもからお年寄りまで楽しめるよう「プリンセス・オデット号」を、リニューアルいたしました。



FujiQ News. 1

## 新型車両

# 「6000系」を導入!!

平成24年2月29日(“富士急の日”)より、新型車両「6000系」の運行を開始いたしました。車両全体のデザインは、当社の観光列車「富士登山電車」等のデザインも手がけたデザイナー・水戸岡鋭治氏によるものです。新車両の外観は富士山をイメージしたブルーを基調としたもので、内装には床やつり革など随所に木を使用し、シートはオリジナルのモケットとするなど、通勤型車両としてこれまでにない居心地の良さを目指した”新しい”ローカル列車の形を提案しております。通勤、通学としてのご利用のお客さまの他、富士五湖方面への観光のお客さまにも楽しんでいただける車両となっております。



## PICK UP



### ■ 内装

車内は、木目調で仕上げられた床・つり革。シートは、オリジナルのモケットを使用したロングシート。



### ■ 外装

新車両の外観は富士山をイメージしたブルーを基調とし、6000系のロゴや富士山麓電気鉄道の社紋もデザインされております。



### ■ 運転室

新たにTE装置(緊急列車防護装置)を設置し、ボタン押下により非常ブレーキの作動など緊急時の迅速な対応が可能です。

# 「頑固市場」「レストラン ソラノテラス」 「リサとガスパールカフェ」OPEN!!

東名高速道路・海老名サービスエリア(上り線)の商業施設「EXPASA海老名」のグランドオープンにあわせて「高速道路初出店」となる新店舗「頑固市場(がんこいちば)」を平成23年12月にオープン。

また、平成24年4月には新東名高速道路の部分開通にあわせ、NEOPASA駿河湾沼津(上り線)に、「レストラン ソラノテラス」「Le Café de Gaspard et Lisa」(リサとガスパールカフェ)をオープン。

## PICK UP



### 頑固市場 GANKO ICHIBA

「頑固市場」は神奈川・静岡東部エリアの水産・畜産・大豆加工品等の中から厳選された特産品やこだわりの逸品だけを集めた「食」のセレクトショップ。和風モダンな店内には原材料や製法にこだわっている有名老舗店の商品や、高速道路のサービスエリア初登場の商品、「頑固市場」でしか買うことができないオリジナルの限定商品など、バイヤーが自信を持っておすすめできる商品のみを取り揃えました。

### レストラン ソラノテラス SORANO TERRACE

「レストラン ソラノテラス」は、新東名高速道路のサービスエリア・パーキングエリアで唯一となるオーシャンビューのレストランであり、昼は駿河湾から遠く伊豆半島まで、夜は沼津の夜景をお楽しみいただけます。開放的な店内では、「市場直送品希少部位 マグロほほ肉のステーキ」や「静岡産もち豚の熟成コースカツ」など、地産地消のメニューをはじめとする料理を、フルサービスにて提供いたします。



### Le Café de Gaspard et Lisa<sup>®</sup>

このカフェは、フランス生まれの人気キャラクター「リサとガスパール」をテーマとしており、オープンにあわせて原作者ゲオルグ・ハレンスレーベンが書き下ろした原画の展示や、入口でお出迎えしている等身大のオブジェ、壁や天井に描かれた絵など、リサとガスパールの世界を堪能することができます。



# 今夏、 富士急ハイランドに新規施設 登場!!

富士急ハイランドでは今夏2つの新規施設が登場予定です。  
この夏どうぞご期待ください!

## PICK UP



### ■ 脱出迷宮アトラクション「絶望要塞」

脱出迷宮アトラクション「絶望要塞」を7月下旬にオープン(予定)。  
“迷宮”からの脱出を試みるミッションクリア型のウォークスルーア  
トラクションで、脱出成功確率は限りなく0%に近い数字を目指しており  
ます。

これは、世界最恐の巨大お化け屋敷「最恐戦慄迷宮」で培ってきたノ  
ウハウを元に、今度はホラーではない“迷宮”を作り出すという富士急  
ハイランドの挑戦でもあります。

延べ床総面積約3,300㎡にも及ぶその規模は「最恐戦慄迷宮」をも上  
回ります。さらに、「最恐戦慄迷宮」同様“リアル”にこだわって細部  
まで作り込まれた要塞で、“本物の脱出”を体験することができます。

### ■ かいけつゾロリのぼうけんランド

株式会社ポプラ社から刊行されている「かいけつゾロリ」シリー  
ズとコラボレーションしたテーマアトラクション「かいけつゾロ  
リのぼうけんランド」を7月21日(土)にオープン。

「かいけつゾロリ」は1987年にスタートした原ゆたか氏作の児  
童書で、これまでポプラ社より50巻が発刊され、本のみなら  
ずテレビアニメや映画、ゲームなど様々な形で人気を博してき  
ました。そんな人気作品の“ファンの皆様に満足してもらえる  
世界を作るにはどうしたらよいか”を、ポプラ社及び原ゆたか  
氏と内容を練った末、本の世界に入ってゾロリと“ぼうけん”  
体験をしてもらうというコンセプトの元、「かいけつゾロリのぼ  
うけんランド」が誕生いたします。



©原ゆたか/ポプラ社



# 富士急グループ

## 「2012年度－2014年度中期経営計画」の策定について

富士急行株式会社は、経営理念『いつも「喜び・感動」』に基づき、さらなる企業価値の向上を目指し、富士急グループ「2012年度－2014年度中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

つきましては、経営戦略としては、「ポートフォリオマネジメント戦略」及び「エリア戦略」を推進し、当社グループは十二分に安全を心がけ、「夢・喜び・快適・やすらぎ・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

### 1 目標とする経営指標（連結ベース）

2013年3月期～2015年3月期の3カ年累計

営業収益（億円）	1,424
営業利益（億円）	120
経常利益（億円）	87
当期純利益（億円）	40

※本中期経営計画の内容は、種々の前提に基づき策定したものでありますが、この計画は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

### 2 経営戦略

#### (1) ポートフォリオマネジメント戦略

3事業のポートフォリオ効果によって、収益変動性（リスク）をコントロールしながら、収益（リターン）を最大化する、当社独自の戦略により企業価値の極大化を図ってまいります。

#### (2) エリア戦略

富士山エリアのリゾート価値向上と首都圏エリアの機能強化を推進してまいります。

##### ① 富士山エリアのリゾート価値向上

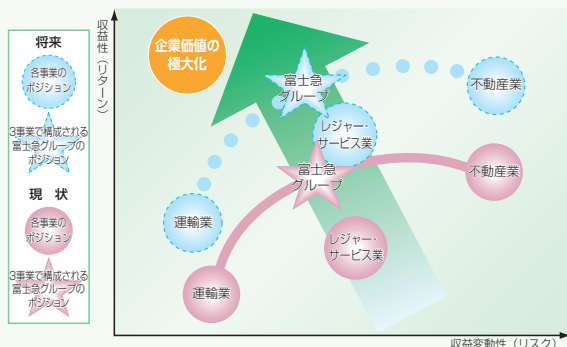
当社独自の「ソフト」及び「ハード」戦略を推進し、

遊・食・住などに関する様々なアメニティの提供により、富士山エリアのリゾート価値向上を図ってまいります。

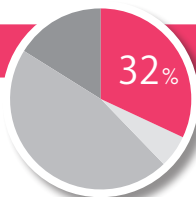
また、アミューズメントパーク事業の中核である「富士急ハイランド」は、差別化戦略による収益力強化を図ってまいります。

##### ② 首都圏エリアの機能強化

「さがみ湖リゾート」の成長戦略の推進や、富士山エリアへの送客機能の強化などに取り組んでまいります。



# 事業別概況（連結）



## 運輸事業

鉄道事業につきましては、富士吉田駅を富士登山や富士山観光のゲートウェイとして再構築するため、7月に「富士山駅」に名称変更し、国内外のお客様への知名度向上と富士北麓エリアへのさらなる集客・誘致を図りました。

また、平成24年2月に内装の随所に木を使用するなど、これまでにない居心地の良さを目指した新型車両6000系を導入し、快適性の向上を図りました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、富士急山梨バス株式会で夏季に、おおよそ富士山吉田ロー合目に当たる「馬返し」までの登山バスの運行を開始し、富士山吉田口から富士山頂を目指す往年の富士登山の復活につながる試みとして話題を集めるなど、新たな需要の創出を図りました。

高速バス営業につきましては、富士急山梨バス株式会で「大宮～河口湖線」を4月から池袋駅へ乗入れし、新規顧客の掘り起こしに努めるとともに、河口湖営業所では羽田空港と富士山・富士五湖とのアクセスを向上させる「羽田空港～富士山駅線」の運行を開始し、登山シーズンには一部の便を富士山五合目まで乗入れました。

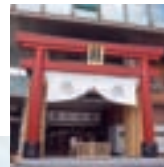
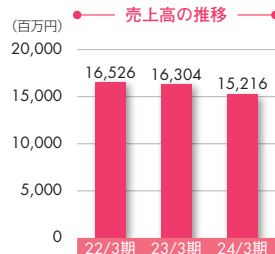
また、株式会社フジエクスプレスでは、「さがみ湖イルミリオン」の開催期間中に、新宿から直通「さがみ湖イルミリオン線」を運行しました。

貸切バス営業につきましては、4月に山中湖エリアにおいて陸上でも水上でも走行可能な水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」の運行を開始し、7月からはアテンダントによる楽しい演出を加え、多くのお客様から好評を博しました。また、貸切バス営業が直面する環境の変化に対応するため、バス車両を減少するなど、事業規模・営業体制の見直しに取り組みました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、富士急山梨ハイヤー株式会社で10月に都留市地域公共交通実証運行に参加し、デマンド型乗合タクシーを運行しました。

運輸事業につきましては、安全管理体制の構築、安全意識の浸透を継続的に図ることを目的とした運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で安全目標、重点施策を設定するとともに、安全性に優れた新型鉄道車両の導入や一部の踏切へ通行者の体温を感知して危険を音声で発するボイス装置を設置するなど、より一層安全で快適な輸送の実現に取り組みました。

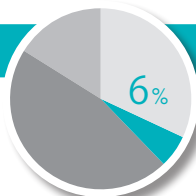
以上の結果、運輸事業の営業収益は152億16百万円（対前期93.3%）となりました。



富士山駅入口



新型車両6000系



## 不動産事業

不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で大人の趣味・嗜好を追求できる『コンセプト・ヴィラ』シリーズに「煉瓦の森山中湖」を新商品として加えるとともに、訴求効果の高いWebサイトをリニューアルし、需要の喚起に努めました。

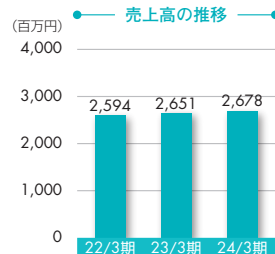


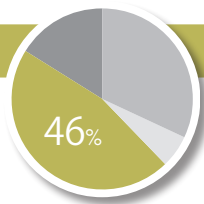
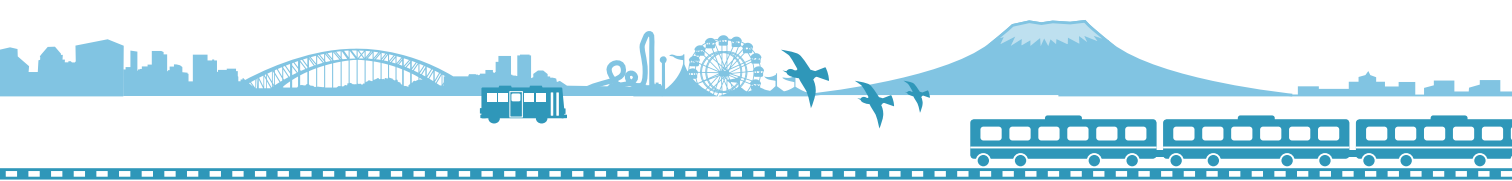
煉瓦の森山中湖

また、充実した別荘ライフを提供するため、季節ごとに各種イベントを開催するとともに、電力削減と環境整備を目的として、山中湖畔別荘地、十里木高原別荘地の街路灯を全てLED化いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、社有地を有効活用した新たな物件を賃貸するなど、収益の向上に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は26億78百万円（対前期101.0%）となりました。





## レジャー・サービス事業

遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」で7月に5年ぶりの大型設備投資となる最大落下角度世界一(ギネス記録認定)のローラーコースター「高飛車」を導入し、大好評を博しました。また、11月には『リアル脱出ゲーム×エヴァンゲリオン「ある使徒からの脱出」』の開催、12月からは富士急ハイランドの開業50周年を記念した「Fuji-Q 50th ANNIVERSARYプロジェクト」の実施、さらに、平成24年2月29日には、4年に1度の「富士急の日」にちなんだ特別イベント「229個の宝探し」の開催など各種イベントの展開により、集客と増収に努めました。

富士南麓の遊園地「Gripa」では、7月に「ピカソのタマゴ」に5種類のアスレチックを追加し、12月には雪あそび広場に「雪ピカソ」をオープンし、海外からのお客様にも多数ご利用いただきました。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、4月に首都圏最大級のデイキャンプ場「ワイルドクッキングガーデン」を、7月には迷路のテーマゾーン「森の迷路」を導入し、好評を博しました。また冬期営業としては、11月に3年目となる関東最大級のイルミネーションイベント「さがみ湖イルミリオン」のLED照明を200万球から300万球に増強し、前回を大きく上回る25万人のお客様にご来場いただきました。

ホテル事業につきましては、7月に「ハイランドリゾート ホテル&スパ」最上階の12階にスカイバンケット「ディアラ」をオープンし、リゾート型ウェディングや家族婚など、多様化するニーズに対応しました。また、8月には未就学児を対象とした幼児教室・キッズルーム「トモミハウス」を新設し、利便性の向上に努めました。

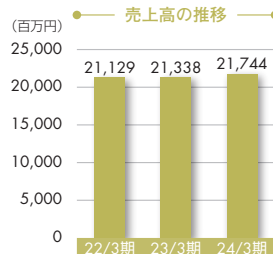
その他のレジャー・サービス事業につきましては、「富士本栖湖リゾート」で4年目を迎えた「富士芝桜まつり」を4月後半から5月後半まで開催しました。

また、4月に「小山町道の駅「すばり」観光交流センター」を、12月には東名高速道路EXPASA海老名に当社初となる高速道路の物販施設「頑固市場」を出店し、多くのお客様にご利用いただきました。

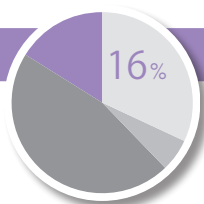
さらに、スノータウン「Yeti」を13年連続で日本一早くオープンし話題を集めるとともに、首都圏等を発着地とする直行バスを新たに設定するなど、お客様の誘致に努めました。

「さがみ湖パティントンペアキャンプグラウンド」をはじめとするアウトドア宿泊施設では、「PICA」ブランドが定着し、前年を上回るお客様にご利用いただきました。

以上の結果、ゴルフ場事業を含めたレジャー・サービス事業の営業収益は217億44百万円(対前期101.9%)となりました。



高飛車



## その他事業

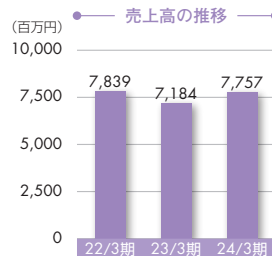
株式会社富士急百貨店では、富士吉田駅の富士山駅への名称変更に合わせて、富士山の玄関口である「Q-STATION」をリニューアルして増収に努めるとともに、「Q-STATIONお買物きっぷ」の発売など、富士急行線とタイアップした集客に努めました。

富士ミネラルウォーター株式会社では、非常用保存水をはじめとするペットボトル製品の販売が好調に推移しました。

以上の結果、その他事業の営業収益は77億57百万円(対前期108.0%)となりました。



富士ミネラルウォーター



# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>23,896</b>	<b>22,188</b>	<b>流動負債</b>	<b>22,561</b>	<b>24,068</b>
現金及び預金	10,302	8,884	支払手形及び買掛金	2,263	1,752
受取手形及び売掛金	2,654	1,964	短期借入金	15,288	16,444
たな卸資産	9,681	10,022	賞与引当金	392	415
その他	1,258	1,316	その他	4,616	5,455
<b>固定資産</b>	<b>63,752</b>	<b>64,780</b>	<b>固定負債</b>	<b>48,593</b>	<b>46,813</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>54,541</b>	<b>55,657</b>	長期借入金	39,576	39,673
建物及び構築物	26,152	26,831	退職給付引当金	1,037	1,092
機械装置及び運搬具	5,831	6,652	その他	7,978	6,048
土地	16,435	16,666	<b>負債合計</b>	<b>71,154</b>	<b>70,882</b>
建設仮勘定	825	2,457	<b>(純資産の部)</b>		
その他	5,297	3,050	<b>株主資本</b>	<b>15,934</b>	<b>15,624</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>3,047</b>	<b>3,088</b>	資本金	9,126	9,126
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,162</b>	<b>6,035</b>	資本剰余金	3,417	3,417
投資有価証券	4,287	4,172	利益剰余金	4,918	4,647
その他	1,875	1,862	自己株式	△1,528	△1,566
<b>資産合計</b>	<b>87,649</b>	<b>86,969</b>	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△29</b>	<b>△80</b>
			その他有価証券評価差額金	△29	△80
			<b>少数株主持分</b>	<b>589</b>	<b>543</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>16,494</b>	<b>16,086</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>87,649</b>	<b>86,969</b>

## 連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業収益		43,971	44,589
営業費		41,150	41,974
<b>営業利益</b>		<b>2,821</b>	<b>2,615</b>
営業外収益		266	204
営業外費用		1,255	1,245
<b>経常利益</b>		<b>1,832</b>	<b>1,574</b>
特別利益		701	588
特別損失		912	1,388
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>1,621</b>	<b>774</b>
法人税、住民税及び事業税		354	573
法人税等調整額		421	△492
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>		<b>845</b>	<b>692</b>
少数株主利益		45	27
<b>当期純利益</b>		<b>799</b>	<b>665</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>6,477</b>	<b>4,636</b>
税金等調整前当期純利益		1,621	774
減価償却費		4,907	4,586
その他損益等調整額		1,177	1,785
資産・負債の増減額		133	△675
小計		7,840	6,471
利息の支払額等		△1,362	△1,834
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△3,278</b>	<b>△4,957</b>
有形固定資産の取得による支出		△3,810	△5,465
その他		531	508
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△1,778</b>	<b>1,592</b>
借入金の増減額		△1,253	556
その他		△524	1,036
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>		<b>1,420</b>	<b>1,271</b>
現金及び現金同等物の期首残高		8,805	7,533
現金及び現金同等物の期末残高		10,225	8,805

## 連結株主資本等変動計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
当期首残高	9,126	3,417	4,647	△1,566	15,624	△80	543	16,086
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△528		△528			△528
当期純利益			799		799			799
自己株式の取得				△1	△1			△1
自己株式の処分		※ 0		39	40			40
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						50	46	97
連結会計年度中の変動額合計	—	※ 0	271	38	310	50	46	407
当期末残高	9,126	3,417	4,918	△1,528	15,934	△29	589	16,494

(注) ※は822千円であります。

# 単独財務諸表



## 貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	第111期 (平成24年3月31日現在)	第110期 (平成23年3月31日現在)		第111期 (平成24年3月31日現在)	第110期 (平成23年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	20,812	19,299	<b>流動負債</b>	17,855	19,211
現金及び預金	8,844	7,656	短期借入金	12,604	13,738
未収運賃	585	456	未払金	1,832	984
未収金	1,139	376	賞与引当金	62	63
たな卸資産	8,460	8,646	その他の流動負債	3,356	4,424
その他の流動資産	1,782	2,162	<b>固定負債</b>	<b>44,150</b>	<b>42,400</b>
<b>固定資産</b>	<b>56,319</b>	<b>57,372</b>	長期借入金	38,043	37,908
鉄道事業固定資産	3,234	2,948	長期預り保証金	3,265	3,241
自動車事業固定資産	4,510	4,788	その他の固定負債	2,840	1,250
観光事業固定資産	28,371	27,692	<b>負債合計</b>	<b>62,005</b>	<b>61,611</b>
土地建物事業固定資産	9,157	9,386	<b>(純資産の部)</b>		
各事業関連固定資産	1,939	1,990	<b>株主資本</b>	<b>15,169</b>	<b>15,143</b>
その他の固定資産	357	365	資本金	9,126	9,126
建設仮勘定	838	2,366	資本剰余金	3,399	3,399
投資その他の資産	7,910	7,833	利益剰余金	3,831	3,803
投資有価証券	5,027	4,943	自己株式	△1,188	△1,186
長期貸付金	1,989	2,163	<b>評価・換算差額等</b>	<b>△42</b>	<b>△82</b>
その他の投資等	910	783	その他有価証券評価差額金	△42	△82
貸倒引当金	△16	△57	<b>純資産合計</b>	<b>15,126</b>	<b>15,060</b>
<b>資産合計</b>	<b>77,132</b>	<b>76,672</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>77,132</b>	<b>76,672</b>

## 損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	
	第111期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第110期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
<b>鉄道事業</b>		
営業収益	1,226	1,278
営業費	1,172	1,236
営業利益	53	41
<b>自動車事業</b>		
営業収益	2,608	2,728
営業費	2,086	2,223
営業利益	521	504
<b>観光事業</b>		
営業収益	17,754	17,558
営業費	16,531	16,637
営業利益	1,223	921
<b>土地建物事業</b>		
営業収益	1,858	1,902
営業費	1,520	1,401
営業利益	338	500
<b>全事業営業利益</b>	<b>2,136</b>	<b>1,968</b>

科 目	期 別	
	第111期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第110期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
<b>営業外収益</b>	<b>268</b>	<b>286</b>
<b>営業外費用</b>	<b>1,156</b>	<b>1,143</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,247</b>	<b>1,112</b>
<b>特別利益</b>	<b>520</b>	<b>304</b>
<b>特別損失</b>	<b>812</b>	<b>1,090</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>955</b>	<b>326</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>54</b>	<b>310</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>339</b>	<b>△412</b>
<b>当期純利益</b>	<b>561</b>	<b>428</b>

## 株主資本等変動計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本									評価・換算 差額等	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計			
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金 合計
当期首残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,624	3,803	△1,186	15,143	△82	15,060
当期変動額												
剰余金の配当							△534	△534		△534		△534
当期純利益							561	561		561		561
自己株式の取得									△1	△1		△1
自己株式の処分			※1 0	※1 0					※2 0	※3 0		※3 0
株主資本以外の項目の 当期の変動額（純額）											39	39
当期変動額合計	—	—	※1 0	※1 0	—	—	27	27	△1	26	39	66
当期末残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,651	3,831	△1,188	15,169	△42	15,126

(注) ※1は15千円、※2は283千円、※3は298千円であります。

# 会社概況／株式情報



## 会社概要 (平成24年3月31日現在)

- 商号 富士急行株式会社  
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号  
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15（1926）年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

## 役員 (平成24年3月31日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内 光雄	取締役	尾崎 護
取締役社長 (代表取締役)	堀内 光一郎	取締役	石川 二比古
専務取締役	帆足 雅晴	取締役	小林 正幸
専務取締役	堀内 哲夫	取締役	新井 正久
専務取締役	福重 隆一	取締役	和田 一收
常務取締役	小泉 孝一	常勤監査役	高部 久夫
取締役	林 有厚	監査役	水田 力也
取締役	宇野 郁夫	監査役	岡本 和也
取締役	秋山 智史	監査役	芦澤 敏久
取締役	藤田 讓		

## 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	331,695,000 株
■ 発行済株式の総数	109,769,477 株
■ 株主数	6,436 名

## 大株主 (平成24年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人堀内浩庵会	12,912	12.09
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.90
日本生命保険相互会社	10,633	9.96
富国生命保険相互会社	10,624	9.95
朝日生命保険相互会社	7,650	7.16
株式会社東京ドーム	3,052	2.86
富士急行株式会社	2,964	2.70
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,555	2.39
日野自動車株式会社	2,506	2.35
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.32

## 連結子会社の状況 (平成24年3月31日現在)

### 〔運輸部門〕

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)
- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

### 〔レジャー・サービス部門〕

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

- 相模湖リゾート(株)
- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

### 〔不動産部門〕

- (株)富士急リゾートアメニティ

### 〔その他部門〕

- (株)富士急百貨店
  - 富士急建設(株)
  - (株)レゾナント・システムズ
  - 富士ミネラルウォーター(株)
- その他8社



# 単元未満株式の買取・買増制度のご案内

## 単元未満株式の買取請求・買増請求について

### 【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買取ることができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

### 【お手続きについて】

#### ■ 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社にお問い合わせください。ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

#### ■ 証券会社に口座を開設されていない株主様

単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

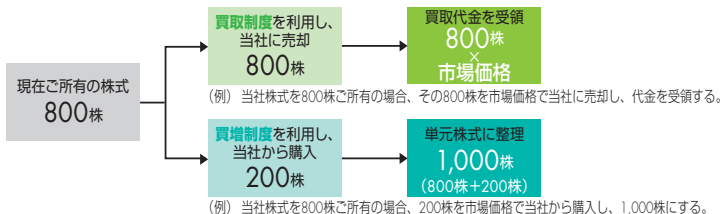
### 【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

#### 買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

#### 買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。



## 株主メモ





事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711（通話料無料）
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

（ご注意）

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株主優待のご案内



	電車・バス・観光施設 共通優待券	フリーバス引換券	★ 高速バス乗車券	電車・バス全線 優待バス
35,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)</li> <li>●バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)</li> </ul>			電車・バス全線優待バス (表示された持参人1名)  × 1枚
20,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換)</li> <li>●ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)</li> <li>●さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換)</li> </ul>			
10,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)</li> <li>●あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券またはゴンドラ往復券1枚と引換)</li> <li>●初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遊園地フリーバス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト)</li> <li>●スキー場一日券 (スノータウン Yeti・あだたら高原スキー場)</li> </ul>		
5,000株以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車(往復))</li> <li>●河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)</li> <li>●初島航路 (1枚につき1名乗船(片道)、2枚につき1名乗船(往復))</li> <li>●フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)</li> <li>●ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)</li> </ul>		高速バス乗車券  × 4枚   × 2枚   × 1枚	
3,000株以上				
1,000株以上				

注) 高速バス乗車券は、中央高速バス「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、東名高速バス「河口湖～東京・市が尾線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。



## 施設割引券

ハイランドリゾート ホテル&スパ ホテルマウント富士	1枚につき1室室料 20%または自社企画 宿泊商品10%割引	2枚
ホテルマウント富士 プール割引券	20%割引 (1枚に つき4名まで)	
富士宮富士急ホテル	2ホテル共通1枚に つき1室室料20% または自社企画宿 泊商品10%割引	5枚
甲府イーストサイド ホテル	レストラン・バー10%割引 (1枚につき4名まで)、「ホ テルマウント富士」では、食 事付入浴10%割引 (1枚に つき4名まで)として利用可。	
富士急グループホテ ル 飲食割引券	所定プレー料金か ら2,000円割引 (1 枚につき4名まで)	1枚
富士ゴルフコース	バック料金から1,000 円割引、土・日・祝日 2,000円割引 (1枚に つき4名まで)	
ゴルフパーク Bandi	所定プレー料金か ら2,000円割引 (1 枚につき4名まで)	2枚
大富士ゴルフ場	入館料 平日大人 750円 小人400円 土休日 大人1,000 円 小人500円 (1枚 につき4名まで)	
ふじやま温泉	コテージ1棟(素泊 り) 10%割引、レス トラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引	1枚
PICAI山中湖ヴィレッジ	1枚につき1泊1室 10%割引	
PICA富士吉田・ PICA富士西湖・キャ ンピカ富士ぐりんば・ パティントンペア キャンプグラウンド	1枚につき20%割 引 (1ケース以上)	2枚
富士ミネラルウォーター	パッケージ旅行代 金の5%割引 (1枚 につき4名まで)	
富士急トラベル	1ゲーム350円 (1 枚につき4名まで)	1枚
富士急ハイランドポ ウリング場	車検・点検・整 備 工賃10%割引	

## 長期保有特別優待券

「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「ホテ ルマウント富士」の 指定するツインルー ム室料100%または ホテル内レストラン 利用料30%割引券	× 3枚
「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「ホテ ルマウント富士」の 指定するツインルー ム室料100%または ホテル内レストラン 利用料30%割引券	× 2枚

## FujiQ News.4

# 「高速バス株主優待乗車券」に 静岡方面の5路線を追加

当社株式を5,000株以上保有している株主様に発行する「高速バス株主優待乗車券」において、現行の対象路線(4路線)に、静岡方面の5路線を新たに追加いたしました。

**既存路線** 富士五湖～新宿線・富士山五合目～新宿線  
甲府～新宿線・河口湖～東京・市が尾線

**追加路線** 富士宮～東京線・富士～東京線・沼津～東京線  
沼津～新宿・渋谷線・三島～新宿・渋谷線

平成24年3月31日現在、株主名簿に記載された株主様への株主優待から実施いたします。

### ● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に対してそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

### ● 長期保有特別優待券

・長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ3年経過ごとに発行しております。**(3年に1度の発行となります。)** 相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

・長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。  
その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



## 富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号

東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyu.co.jp/>